

当院（国立精神・神経医療研究センター）にて 統合失調症の社会認知機能障害に対するtDCS研究に 参加された方へ

この度、当病院 統合失調症の社会認知機能障害に対するtDCS研究にご提供いただいた診療情報等、臨床情報の一部について、当院のほかの研究で実施された下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2018年4月1日より2021年3月31日までの間に、統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流刺激の効果に関するパイロット研究に参加された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名 : 国立精神・神経医療研究センター

所属・氏名 : 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部部長 住吉 太幹

3. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流刺激の効果に関するパイロット研究

研究期間 : 2018年4月1日～2021年3月31日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

児童・予防精神医学研究部 住吉 太幹

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等：背景情報、社会機能に関するアンケート調査、認知機能に関する心理検査

人口統計学的情報（年齢、性別等）、教育歴、婚姻歴、家族情報、社会機能、罹患年数、再発回数、入院歴、電気痙攣療法の既往など

自己式質問票によるデータ : 自閉症症状

認知機能等臨床評価データ : 社会認知機能、心の理論、社会機能的な能力、精神症状、病前IQ、認知機能

(取得方法) カルテの診療録及び「統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流刺激の効果に関するパイロット研究」の一環で採取

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

tDCS 刺激の介入方法は、刺激の部位や刺激回数といった方法が単一ではなく、効果にも差がありました。そこで、特定の治療法や刺激条件が、どの認知機能に対してより効果的かを明らかにすることが期待されます。本研究では、経頭蓋直流刺激が記憶の意味的なまとまりに対し、どのように影響を及ぼすかを検討することを目的としています。提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

2025 年 6 月を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名 : 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
所属 : 児童・予防精神医学研究部 氏名 : 和田 歩
電話番号 : 042-341-2712 (内線: 2430)
e-mail : a.wada@ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)